



長距離通信が可能な無線通信規格「ELTRES™」を採用

1mm単位で水位を検知

水田に挿すだけで設置完了

品番	BGR-CROELPRWLS-01-WS
本体サイズ	約H945×W75×T155mm(ケーブル・センサー部含まず)
重量	約720g
無線通信	ELTRES™
電源	リチウム電池(CR17345×2)
動作保証範囲	-10~60°C
防水性能	IPX5相当(トップカバー、センサーケーブルが正しく装着されている状態において)
規格認証	電波法、電気通信事業法

センサーの特長

Greetで提供しているセンサーは、e-Water Sensor(CROPP)圧力式水田水位センサー「ELTRES™」です。長距離通信が可能な無線通信規格「ELTRES™」を使用しています。センサーは、水田の水位と水温を10~15分ごとに計測。計測データはクラウド上に保存され、スマートフォンやタブレット端末などで、いつでもどこからでも確認することができます。水位や水温に急激な変化が生じた場合はアラートで通知されます。

e-Water Sensorは乾電池を動力源にしているため、設置のために電気工事などは不要です。水田に挿すだけで設置が完了し、シーズン中に電池交換をする必要もないためストレートアラートで通知されます。

専用アプリの利便性をさらに向上させるための開発も継続中です。装置の故障や不具合の発生状況を確認できるだけでなく、GISやeMAFFとの連動などの機能拡張をめざしています。ご使用中のトラブルに備え、サポートセンターを設置しています。電話やメール、FAXでのご相談が可能です。

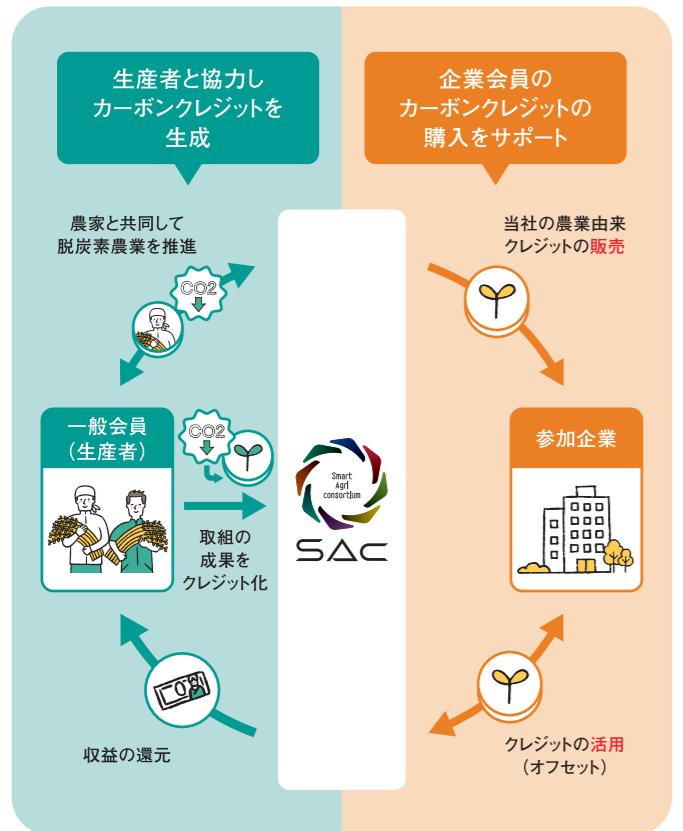
Greetを活用してJ-クレジット申請をするには

トを申請する場合、SACへの加入が必要となります。SACでは、2024年より会員限定のサービスとして「J-クレジット制度申請サポート」に取り組んでいます。SACがプロジェクト申請者となつた2024年度分の、水稻栽培における中干し期間の延長によるJ-クレジット申請は、既に国から認証を受けました。SACの生産者会員は289戸、対象面積は合計3825ヘクタールに上りました。2025年度

は、GreetによるモニタリングのPOCを約4000ヘクタールの圃場で展開しています。

SACは認証を受けたクレジットの販売支援も行っています。SACコミュニティ内での「クレジットの地産地消」を実現するため、まずは北海道企業を優先的な需要家とし、その上で企業会員を中心に販売を進め、生産者への収益還元を図るスキームとなっています。

当社はSACの事務局を務めています。SACの事業に関することや、ご入会に関するなどもお気軽にお問い合わせください。



Greetに関するお問い合わせ
サングリン・スマートサポートセンター

TEL 011-555-3407 FAX 050-3457-8404
E-mail support@sun-green.co.jp



技術のトビラ

Revolution & Evolution

未来志向の技術と挑戦、ここにあり。
サングリングループの最新の取り組みをご紹介します。



今回は水田センサーとスマートフォンアプリを用いたサービス提供です

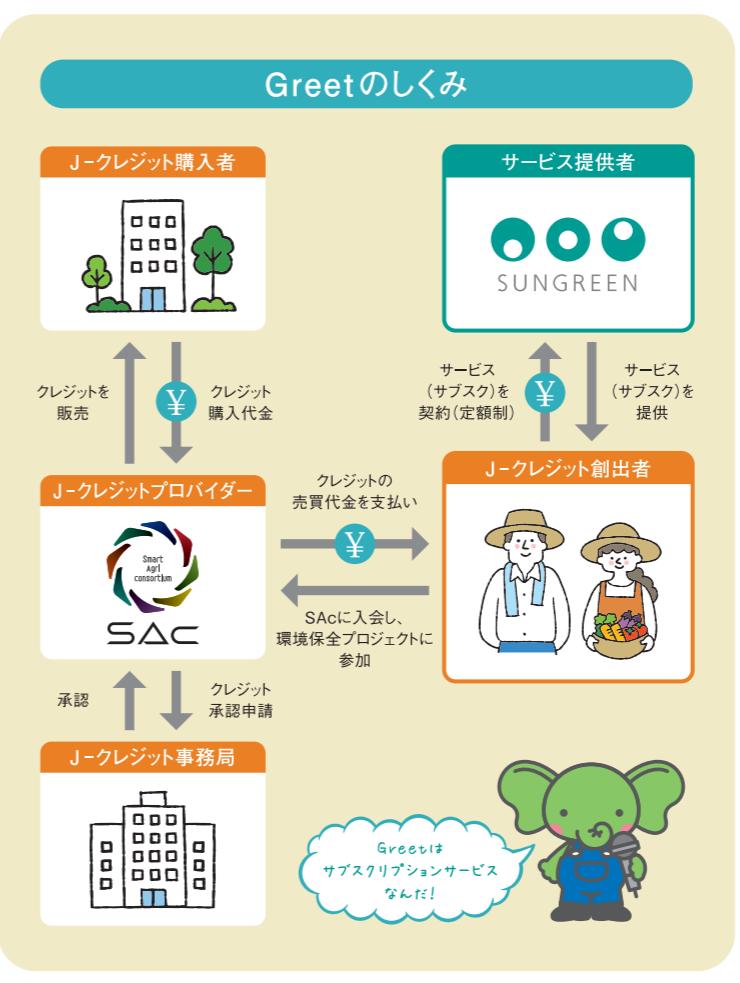
農業は気候変動の影響を受ける産業であると同時に、環境に影響を与える存在でもあります。その要因の一つとして挙げられるのが水田からの排出されるメタンです。CO₂の25倍もの温室効果を持つメタンは、水田からの排出が日本のメタン排出の約4割を占めており、削減が求められています。メタン排出を抑えるには落水期間を長くすることが重要です。水稻栽培において通常行われる中干し期間を7日間延長することにより、メタンを3割程度削減できることが確認されています。

2023年3月には、「水稻栽培における中干し期間の延長」がJ-クレジット制度(※)の方針論として承認されました。温室効果ガスの削減量を、国がクレジットとして認証することで販売できるようになつたため、中干し期間の延長に取り組む生産者が増えています。

当社は中期経営計画「もっと一緒に2027」において、環境再生型農業の推進をキーアクションと位置付けています。持続可能な農業の実現に貢献するため、生産者が行う中干し期間の延長を支援し、クレジット認証をサポートするための新たなサービス「Greet(グリット)」の提供をスタートしました。

新サービス「Greet」とは
国から温室効果ガス削減量のクレジット認証を受けるためには、手續煩雑であるがゆえに、中干し期間の延長に取り組むことをちゅうちょする生産者もいます。Greetは、そうした手間を省いてJ-クレジットの申請ができるサービスです。

Greetにお申し込みいただくと、環境モニタリングシステムが一定期間、定額制で利用できます。水田の申請ができるサービスです。



に設置するセンサーによって測定された圃場のデータを、専用のアプリに連携させることで、J-クレジット申請に必要な書類が自動作成され、クレジット創出者である生産者の省力化を実現します。

なお、Greetを活用してJ-クレジットを申請する場合、J-クレジット申請に必要な書類が自動作成され、SACへスマート農業共同体(以下、SAC)への加入が必要となります。スマート農業共同体のJ-クレジット申請サポート事業については後述します。

※J-クレジットとは、日本で運用されているカーボンクレジット制度の一つで、温室効果ガス(CO₂など)の削減・吸収を実施した際の削減量・吸収量を「クレジット」として販売・購入できる制度。